

ほけんだより

【感染予防特別号】 令和7年4月発行 大阪府立西野田工科高等学校 定時制の課程 保健室

いま大阪府では「百日咳」と「麻疹」という二つの感染症が増加しています！
これらは学校生活を通じて流行が拡大する可能性がとても高い感染症ですので、くれぐれも注意してください！体調がおかしいと感じたときは無理しないこと！



	ひやくにちぜき 百日咳	ましん（はしか）
どんな病気？	ひやくにちぜきによって引き起こされる呼吸器感染症で、特有のけいれん性の咳発作がみられます。どの年齢でも罹りますが子どもに多く、重症化すると、まれに死に至ることもあります。	麻疹ウイルスによって引き起こされる発疹性疾患で、感染すると高熱と結膜炎などの症状と、全身性の発疹がみられます。強い感染力を持つために、麻疹発生時には早期の診断と感染拡大に対する措置が重要となります。
どれくらい流行してる？	《患者発生数》 令和6年は1年間で288件 ⇒ 令和7年は3か月で375件！ 大阪府では、特に9歳～14歳で多く発生しています。	《患者発生数》 令和6年は1年間で11件 ⇒ 令和7年は3か月で10件！ 現在、20代後半から40代前半の人は、予防接種を受けていない可能性が高く、十分な免疫がないことが考えられます。
症状は？	かぜ症状で始まり（発熱は少ない）、次第に咳の回数が増え激しくなります。息を吸うときに笛のようなヒューという音が出ることが特徴的です。この咳は2～3週間から数か月続くことがあります。	高熱や咳・鼻の症状のほかに、口の中に白い斑点が見られるのが特徴です。その後、熱が下がったり上がったりしながら顔の周りに赤い発疹が出はじめ、身体全体に広がります。通常7～9日程度で回復しますが、重症化するケースもあります。
どうやったら感染する？	飛沫感染、接触感染	空気感染、飛沫感染、接触感染
予防は？	① 予防接種 ② 咳エチケット、手洗い、うがい ③ 早めの受診	① 予防接種 ② 早めの受診 ③ 咳エチケット、手洗い、うがい（ただし完全ではない！）
出席停止期間	特有の咳が消失するまで または、5日間の適切な抗菌薬治療が終了するまで	解熱した後3日を経過するまで

